

## 6月定例会 議案を審議

### ■第1回臨時会を開催…………… 2～3

議長・副議長を選出

特別委員会の設置

委員会構成などを決定

### ■第2回定例会を開催…………… 4～8

### ■一般質問 …………… 10～15

5人が登壇・町長に見解を求める

### ■委員会レポート …………… 16

### ■追跡レポート …………… 17

### ■元気なグループ紹介 …………… 18

「白山おやじ・おふくろの会」 代表 森田 知成

# 三木町 議会だより



いくぞ！ボールで遊ぶ子どもたち

にぎわう  
池戸多目的広場



芝生で遊ぶ親子連れ



みき

No.184

2023.7月



# 議長に富田修司氏、副議長に友保陽子氏を 選出し、各委員会構成を決定

## 就任のあいさつ



第43代 富田 修司議長

町民の皆様には、平素より町議会に対し深いご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

私はこの度、三木町議会第1回臨時会におきまして、第43代議長に選出していただきました。

身に余る光栄に感謝申し上げますと共に、この責務の重大さに身の引き締まる思いでございます。

現在、新型コロナウイルス感染症は、法律上の位置付けが2類相当から5類へ移行されましたが、三木町議会といたしましては、町民の皆様が、地域・学校・職場や家庭などの暮らしで、早く日常を取り戻すことが

できるよう、さまざまな課題解決に努めてまいります。

また、地域住民にしっかりと向き合い、皆様の声を尊重し、議会運営において公平かつ円滑に進めるべく努力してまいります。

今日の深刻な少子高齢化や人口減少などの問題をできる限り克服し、皆様が住んで良かったと思える「思いやりと笑顔あふれる町 三木町」づくりに尽力いたします。

結びに、皆様のご健康とご多幸を心よりご祈念申し上げ、議長就任のご挨拶とさせていただきます。



第44代 友保 陽子副議長

この度、議員各位の温かいご推挙をいただき、副議長に就任いたしました。

身に余る光栄であり、その責任の重さを痛感しております。

今回の改選で、女性議員が3人に増えました。多様化する社会の中で、町民の皆様の声を真摯に拝聴し、町政に反映できるよう、取り組んでまいります。

議長を支え、公正かつ円滑な議会運営に努めてまいりますので、町民の皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願いを申し上げます。副議長就任のご挨拶とさせていただきます。



▲前列左から、友保委員・市原委員長・川波副委員長 後列左から、鎌倉委員・中川委員・岡委員・福家委員・満洲委員

新メンバーで  
がんばります

議会広報  
編集委員会

# 常任委員会

◎委員長  
○副委員長

## 総務建設

公有財産の管理、処分、道路、公共下水道、農業振興、土地改良事業に関する事項等



◎岡 昌吾



○森本 晃司



筒井 米市



富田 修司



脇 博文



小島 重俊



鈴木 宏明



福家 昭三

## 教育民生

教育、住民生活、保健、福祉に関する事項等



◎中川 和樹



○鎌倉 大祐



渡辺 達実



市原 信夫



安西 進



友保 陽子



川波 礼子



溝渕 裕子

# 特別委員会など

## 議会運営委員会

議会の運営に関する事項

◎渡辺 達実  
○福家 昭三

森本 晃司  
中川 和樹  
岡 昌吾  
鎌倉 大祐

## 議会改革特別委員会

議会改革に関する事項

◎小島 重俊  
○安西 進

筒井 米市  
森本 晃司  
中川 和樹  
友保 陽子  
岡 昌吾  
鎌倉 大祐

## 学校施設等整備特別委員会

学校施設等の整備方針、施設整備、教育環境に関する事項

◎市原 信夫  
○溝渕 裕子

富田 修司  
脇 博文  
鈴木 宏明  
福家 昭三  
川波 礼子

## 広報編集委員会

議会だより発行

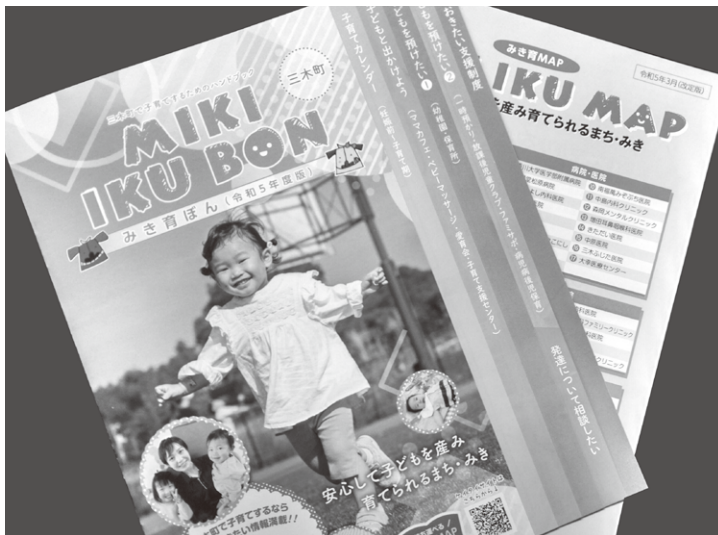
◎市原 信夫  
○川波 礼子

中川 和樹  
友保 陽子  
岡 昌吾  
福家 昭三  
溝渕 裕子  
鎌倉 大祐

## 議会選出監査委員

脇 博文





▲第2期となる新・三木町健やか子ども基金で発行された子育てハンドブック「みき育ぼん」

### 一般会計補正予算（5月及び6月）の主な内容

|                             |         |
|-----------------------------|---------|
| 電力・ガス・食料品等価格<br>高騰重点支援給付金事業 | 1億450万円 |
| 子育て世帯生活支援<br>特別給付金給付事業      | 1,437万円 |
| 自治体情報システム標準化事業              | 1,382万円 |
| 敬老記念品事業                     | 439万円   |
| 第3期三木町健やか子ども基金費             | 1,410万円 |
| 母子保健対策強化事業                  | 310万円   |

### 一般会計補正予算（第1号・第2号）

|        |              |
|--------|--------------|
| 補正前の金額 | 115億 9,000万円 |
| 補 正 額  | 1億 6,103万円   |
| 補正後の金額 | 117億 5,103万円 |

6月定例会の一般質問では、議員5人が登壇し、執行部の考えを質した。

5月の臨時会では、価格高騰に対する緊急支援として、住民税非課税世帯等に一世帯あたり3万円、低所得者の子育て世帯に児童一人あたり5万円の給付金を支給する一般会計補正予算など4議案を可決した。

# 6月定例会

## 第3期三木町健やか子ども基金設置

令和5年6月定例会が、7日から15日までの9日間の会期で開かれた。一般会計補正予算（総額約4,216万円）の主なものは、子育て支援の「第3期三木町健やか子ども基金」の設置、香川大学と連携した母子保健アプリ導入の研究・開発の委託事業、デジタル格差解消の講習会を今年度から国の補助金を受けて行う事業など。また、これまでシルバー人材センターに委託していた学校送迎バス運行が、運転手の高齢化で困難になり、民間に委託するほか、今年から敬老会を中止し、代わって、敬老記念品の送付を行う。

一般会計補正予算以外に、町消防団に消防ポンプ自動車と小型動力ポンプ付積載車の計2台配備、こども家庭庁設置法等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定など7議案も上程、可決された。

町長は、行政報告で、今年度、小学生以下の子どもの保護者を対象に、子育て支援に対するアンケート調査を行うことを明らかにした。

# 議案を審議

## 初 議 会

統一地方選挙後の議会構成を整えるため、5月10日から11日にかけて、令和5年第1回臨時会を開会した。

臨時会では、議長及び副議長選挙、各常任委員の選任、委員長・副委員長の選出等を行った。

議案審議は、繰越明許費に係る報告2件及び国の法律改正に伴う条例改正2件並びに一般会計補正予算（第1号）を審議した。

### ○議長選挙結果

富田 修司・・・9票  
市原 信夫・・・6票  
無効・・・1票

### ○副議長選挙結果

友保 陽子・・・8票  
鈴木 宏明・・・7票  
無効・・・1票

### 専決処分の承認

#### ①三木町条例の一部改正

##### 【個人住民税】

森林環境税の導入に伴い、新たに個人住民税の均等割に併せて森林環境税を賦課徴収

##### 【固定資産税】

中小事業者等の生産性向上や賃上げの促進を図るため、機械・装置等の償却資産の導入に係る要件や特例率等を変更

##### 【軽自動車税】

種別割のグリーン化特例（軽課）の期限を3年間延長

#### ②三木町国民健康保険条例の一部改正

後期高齢者支援金等分に係る課税限度額の引上げ（20万円から22万円）

### 一般会計補正予算（第1号）

物価高騰に対する緊急支援としての補正予算を審議した。

#### ①電力・ガス・食料品等価格

##### 高騰重点支援給付金事業

住民税非課税世帯または同様の事情があると認められる世帯に対し、一世帯あたり3万円を支給するもので、補正額は1億450万円。

#### ②子育て世帯生活支援特別給付金給付事業

低所得の子育て世帯に対し、児童一人あたり5万円を支給するもので、補正額は約1,437万円。

### 特別委員会の設置

#### ①学校施設等整備特別委員会（委員8名）

（委員8名）

老朽化が著しい学校施設について、子どもたちの安心・安全を守るため、経年劣化の状況調査や計画的な施設改修の手法等が検討されてきた。

そのような中、給食調理場は、センター方式での整備が具体化してきたが、今後、PFI方式での実施設計内容や債務負担行為の検証、調理業務の

あり方など、多くの課題が残されていることから、「学校施設等整備特別委員会」を設置し、文教の町と言われる本町の教育環境の充実を図ることにした。



▲学校給食センター外観イメージ

#### ②議会改革特別委員会（委員8名）

（委員8名）

近年、各町村議会において、人口減少や高齢化の影響等もあり、議員への立候補者が減少するなど、なり手不足が深刻化している。本町議会としても住民の代表機関として適切な役割を果たすため、議会

活動の充実、資質の向上のために、必要な事項を検討し、町民から信頼される議会として、改善を図るための調査研究が必要である。



▲改革に動き出す議会

## 6月定例会

### 財産の取得

小型動力ポンプ付積載車

取得価格 1, 199万円

配備場所 三木町消防団第

6分団第2部高木消防屯所

消防ポンプ自動車

取得価格 3, 212万円

配備場所 三木町消防団第4分団第3部花丸消防屯所

**問** 渡辺議員

消防ポンプ車の耐用年数は。

**答** 総務課長

20年をめぐに新規車輛に更新している。

土地開発公社の令和4年度業務報告

①ふるさとピア尾崎団地分譲事業

除草業務を委託し、維持管理を行うとともに土地の一部を一時貸し出し、賃料を得た。

②町道砂入荒木線用地取得事業

令和4年度の用地買収実績はなし。未取得地は残り約1,000㎡となっている。

### 一般会計補正予算(第2号)

28事業総額約4, 216万円の追加補正について審議した。

主な事業、補正額、質疑内容を示す。

①第3期三木町健やか子ども基金

少子化対策、母子保健及び子育て支援のための基金への積立て

1, 410万円



②コミュニティ助成事業

助成事業の対象団体追加

240万円

③教育振興等指定寄附金事業(株)トーキン様より200万円寄附)

田中小学校遊具整備

300万円

④敬老記念品事業

集客型敬老会を中止し、記念品を贈呈

約439万円

⑤母子保健対策強化事業

最適な母子保健アプリ導入研究開発委託

310万円

そのほか、自治体情報システム標準化事業10事業合計

約1, 382万円

**問** 溝渕議員

教育振興費の原子力・エネルギー教育支援とは。

**答** 教育総務課長

原子力等を正しく学ぶための理科の教育用備品を購入するもの。

**問** 市原議員

デジタルデバйд対策事業とは。

**答** 政策課長

デジタル格差是正を目的とするスマホ基本操作等の講師



派遣事業。対象者の制限は設けない。



**問** 市原議員

第3期三木町健やか子ども基金の活用方法は。

**答** こども課長

少子化対策、結婚支援、母子保健及び子育て支援等々を今後検討する。

**問** 市原議員

送迎バスの運用変更の理由は。

**答** 教育総務課長

シルバー人材センターの派遣運転手の高齢化により、民間委託する。

**問** 小島議員

集客型敬老会の中止理由及び周知方法は。

**答** 福祉介護課長

コロナ禍の影響で、3年間中止した。今後の感染不安や不参加者との公平性も考慮し、今年度より対象者全員に記念品を贈呈する。対象者数約4,700人。広報や町ホームページ等で周知する。

**教育民生常任委員会**

令和5年6月8日

**三木町印鑑条例の一部改正**

印鑑登録証明書のコンビニ交付サービスについて、スマートフォンによる交付が可能となるため、所要の改正を行う。

**第3期三木町健やか子ども基金条例の制定**

基金補助金を活用し、計画

的な工夫を凝らした8つの支援の経費の財源に充てる。基金としての積立額は、1,410万円を見込んでいる。

**問** 溝渕委員

第1期、第2期の基金補助金の処分内容や決算額を示せ。

**答** こども課長

第1期は、新開すこやかひろばやばうけんパークの整備。決算額は、3,200円を県に返還した。

第2期は、白山児童クラブ



▲新開すこやかひろば

の駐車場整備や子育てハンドブックの作成。決算額は不足となり、一般財源から数十万円程度を支出した。



▲白山児童クラブ駐車場

**こども家庭庁設置法等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定**

【関係条例】

①三木町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例

②三木町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例

③三木町子ども・子育て会議条例

④ みきの家の設置及び管理に関する条例

### 【改正内容】

- ① 主務大臣及び主務省令の変更
- ② 子ども・子育て支援法の改正に伴う改正
- ③ 「児童の安全確保」を条例で定める事項に追加
- ④ 親権者の子に対する懲戒権の規定を削除

### 問 市原委員

懲戒権の規定の削除とはどのようなことか。

### 答 こども課長

民法等の一部改正により、親権者の懲戒権が無くなったことから、該当する条例について、規定を削除した。

**三木町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正**

感染症まん延時の業務継続の問題点、子どもが巻き込ま

れる事故多発等を受け、児童福祉施設の設備、運営に関する基準の一部改正

### 【改正内容】

- ① 安全計画策定等の義務化
- ② バス等送迎の安全管理の徹底
- ③ 業務継続計画策定等の努力義務化
- ④ 感染症及び食中毒の予防及びまん延防止に必要な措置の明確化

### 問 鎌倉委員

放課後児童クラブの運営は、シダックス株式会社に委託しているが、指定権者は三木町



なのか。

### 答 こども課長

町が運営基準を定め、業者は規定に基づき運営している。

**三木町コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正**

学校給食センターが新設されることに伴い、運動場の利用ができなくなるため、使用料にかかる項目を削除する。

**三木町部活動地域移行準備委員会について報告**

スポーツ庁、文化庁より部活動などに関する総合的なガイドラインが示され、令和5年度から3年間で改革推進期間とし、地域移行に取り組む。計画的に推進するため、三木町部活動地域移行準備委員会を設置する。

## 請願・陳情のゆくえ

令和5年5月22日受付

(要望書)

電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金について  
木田郡歯科医師会 会長 桑村 肇

議員配付



# 定例会・臨時会 提出議案への各議員賛否表

○賛成 ●反対 ー議長 欠(欠席)

| 議案番号・議案名 |                                                | 採決 | 鎌倉大祐 | 溝渕裕子 | 川波礼子 | 福家昭三 | 岡昌吾 | 友保陽子 | 安西進 | 中川和樹 | 森本晃司 | 市原信夫 | 鈴木宏明 | 小島重俊 | 脇博文 | 富田修司 | 渡辺達実 | 筒井米市 |
|----------|------------------------------------------------|----|------|------|------|------|-----|------|-----|------|------|------|------|------|-----|------|------|------|
| 第1回臨時会   |                                                |    |      |      |      |      |     |      |     |      |      |      |      |      |     |      |      |      |
| 報告第1号    | 繰越明許費繰越計算書（一般会計）                               | 承認 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    |
| 報告第2号    | 繰越明許費繰越計算書（公共下水道事業特別会計）                        | 承認 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    |
| 議案第1号    | 専決処分の承認（三木町税条例の一部を改正する条例）                      | 承認 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    |
| 議案第2号    | 専決処分の承認（三木町国民健康保険税条例の一部を改正する条例）                | 承認 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    |
| 議案第3号    | 令和5年度三木町一般会計補正予算（第1号）                          | 可決 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    |
| 議案第4号    | 監査委員の選任                                        | 同意 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    |
| 第2回定例会   |                                                |    |      |      |      |      |     |      |     |      |      |      |      |      |     |      |      |      |
| 報告第1号    | 三木町土地開発公社の経営状況を説明する書類の提出                       | 承認 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    |
| 議案第1号    | 財産の取得（小型動力ポンプ付積載車）                             | 可決 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    |
| 議案第2号    | 財産の取得（消防ポンプ自動車）                                | 可決 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    |
| 議案第3号    | 三木町印鑑条例の一部を改正する条例の制定                           | 可決 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    |
| 議案第4号    | 第3期三木町健やか子ども基金条例の制定                            | 可決 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    |
| 議案第5号    | こども家庭庁設置法等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定               | 可決 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    |
| 議案第6号    | 三木町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定 | 可決 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    |
| 議案第7号    | 三木町コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定        | 可決 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    |
| 議案第8号    | 令和5年度三木町一般会計補正予算（第2号）                          | 可決 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    |

| 鎌倉大祐 | 溝渕裕子 | 川波礼子 | 福家昭三 | 岡昌吾 | 友保陽子 | 安西進 | 中川和樹 | 森本晃司 | 市原信夫 | 鈴木宏明 | 小島重俊 | 脇博文 | 富田修司 | 渡辺達実 | 筒井米市 | 議員氏名 | ○は出席 ●は半欠 ×は欠席 |
|------|------|------|------|-----|------|-----|------|------|------|------|------|-----|------|------|------|------|----------------|
| ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | 5/10 | 第1回臨時会(5月)     |
| ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | 5/11 | 第2回定例会(6月)     |
| ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | 6/7  | 議員出欠表          |
| ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | 6/13 | (本会議のみ)        |
| ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○    | 6/15 |                |

# 一般質問

ここが聞きたい!

## 町政を問う

5人が質問

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、  
町民の声や自身の考え方をもとに町長や教育長などの  
方針を問うものです。



1人60分の制限時間。  
議会だよりでは、質問と答弁を要約しています。  
詳しい内容については、インターネット中継をご覧ください。

| 質問者   | 質問事項                                                            | ページ |
|-------|-----------------------------------------------------------------|-----|
| 市原 信夫 | 1 用水路清掃の泥土の運搬・処分を公費負担にできないか<br>2 ひきこもり対策は十分か<br>3 明るい町へ 防犯灯の増設を | 11  |
| 渡辺 達実 | 1 非核平和宣言の町として活動を<br>2 池戸多目的広場の管理は<br>3 入札制度の改善は                 | 12  |
| 福家 昭三 | 1 地籍調査進捗率 31%、実施計画を前倒しせよ<br>2 婚活支援制度の拡充を<br>3 特別養護老人ホームの新設を     | 13  |
| 小島 重俊 | 1 保育施設に係る配置基準等の現状を示せ<br>2 子ども食堂への支援は<br>3 職員の働き方改革を             | 14  |
| 溝淵 裕子 | 1 学校給食に有機農産物を使用する動きは<br>2 有機農業への取組は<br>3 給食センター化で関係者への説明は       | 15  |



市原 信夫 議員

## 問 用水路清掃の泥土の運搬・処分を公費負担にできないか

答 財政的な問題があり、十分検討する必要がある

**問** 高松市は、農業用排水路清掃の浚渫（しゅんせつ）泥土の運搬・処分の補助金を交付している。

宅地造成が進む一方で、農業者は減少し、人員面でも経費面でも、用水路など農業施設の維持が困難になっている。三木町でも、高松市と同様の公費負担が行えないのか。

**答** 農林課長

同様の事業を町で取り組むには、財政的な問題で、十分検討する必要がある。

国の多面的機能支払交付金事業は、浚渫泥土の運搬・処分費にも適用される。しかし、農業振興地域を対象としており、住宅地域においては、一部事業に取り組めないなどの課題がある。

町としても、活動組織の統合・広域化を検討してもらうことで、持続可能な組織体制づくりにつなげて行きたい。

## ひきこもり対策は十分か

**問** 現代社会で、人間関係が希薄となり、ひきこもりが増えている。80歳の高齢者が50歳の子どもの世話をする「8050問題」も起きている。厚生労働省は、ひきこもり対策のマニュアル作りに乗り出すなどしているが、三木町の場合、どんな対策がとられているのか。

**答** 住民健康課長

ひきこもりの状態が長期にわたり、疾病や貧困などが加わることで、問題が複雑化する傾向にある。

町では、令和3年度、担当部署が、官民の関係機関と連携しながら対応できる「三木町プラットフォーム」を設置している。当事者や家族が相談を望まないなど難しいケースもあるが、相談しやすい支援体制整備に取り組んでいる。

## 明るい町へ防犯灯の増設を

**問** 「三木町は暗い」という声を聞く。通勤、通学の安全や災害、事故防止の観点からも、防犯灯の増設を進めていく必要があるのではないか。

**答** 総務課長

担当窓口、電話、意見箱などで住民からの要望を聞き、その都度、対応している。

防犯灯の場合、設置後のトラブルの未然防止のため、周辺地権者の同意を必須とし、地元の理解を得ることを前提としている。



▲増設要望が出ている町内の防犯灯





# 問 非核平和宣言の町として活動を

## 答 核兵器の廃絶と軍備縮小を訴え、恒久平和の取組を推進していく



渡辺 達実 議員

**問** 8月の終戦記念の日を中心に「非核平和宣言の町」懸垂幕を掲げてはどうか。

**答** 町長

核兵器のない平和で安全な世界の実現は、人類共通の願いである。過去に多くの人が犠牲となった戦争を二度と繰り返さないことを固く誓い、「非核・平和の町」を宣言し、恒久平和に向けた取組を推進している。

庁舎玄関横に平和の啓発塔を常設しているため、懸垂幕設置は見送る。

### 池戸多目的広場の管理は

**問** 多くの親子連れや子どもたちが連日集う憩いの場、スポーツ活動の場として親しまれている。しかし、地元の農家は、サッカーボールなどがフェンスを越え、田んぼに飛んきて、農作物や農機具への影響を危惧している。利用する子どもたちも、ボールの回

収に苦労している。フェンスのかさ上げやネットの設置などを検討すべきではないか。

**答** 町長

現状については認識している。誰もが自由に遊べる場として、みんなが譲り合って利用してくれている。周辺の田んぼや下水処理場への影響は、当初想定していなかった事態となっている。川沿いの道路も危険箇所で規制をかけるべきかなど検討してきた。フェンスのかさ上げについては検討していく。



▲池戸多目的広場

### 入札制度の改善は

**問** 設計業務の入札において、予定価格よりかなり低い入札が続いていると聞く。安かろう悪かろうといった状況に陥っていないか。改善が必要では。

**答** 契約監理課長

県内で最低制限価格の制度を導入しているところは3市町である。今後、他市町の導入状況を注視し調査していく。

### 下水道事業の進捗状況は

**問** 下水道工事の復旧工事後、交通量の多い道路では振動等の問題が発生し、生活を圧迫していると聞く。どのような対応をしているのか。

**答** 環境下水道課長

業者の協力を得て、手直し等を実施するなどの対策を講じている。





福家 昭三 議員

## 問 地籍調査進捗率31%、 実施計画を前倒しせよ

答 事業費が多額。国の交付金の  
範囲内で進めざるを得ない

**問** 町の地籍調査進捗率は31%と、周辺自治体比較で極めて低い。その理由は。また、実施計画の前倒しはできないのか。

**答** 農林課長

本事業の取組は昭和26年の国土調査法に基づくが、本町では昭和27年から開始。財政事情等により昭和41年に中止。再開は平成27年度であり、結果として遅れた。

前倒し実施は、国の交付金の全額交付が見込めない現状では難しい。

### 婚活支援制度の拡充を

**問** 結婚適齢期世代の有配偶率は少子化対策上、改善が急務。婚活支援制度の拡充を検討できないか。

**答** 地域活性課長

個性や結婚観の多様化が顕著な現在、結婚相談所入会費用の補助で利用者が増加す

るとは考えにくい。婚活支援は少子化、高齢化対策などの重要施策につながることから、県が設置した「かがわ縁結び支援センター」と連携を図っていく。



### 特別養護老人ホームの新設を

**問** 65歳以上の介護認定率は20%。80歳以上では。

団塊の世代が80歳を超える超高齢化時代に施設・居住系サービスは提供できるのか。社会インフラとしての「特別養護老人ホーム」の新設・増床を検討すべきでは。

**答** 福祉介護課長

80歳以上の令和4年度末の介護認定率は49%。施設・居

住系サービスについては、今年度、グループホーム1か所18床を新規整備する。今後は、国の方針である地域包括ケアシステムの取組を推進しながら、「特別養護老人ホーム」を含む施設・居住系サービスの必要性を慎重に検討する。

### 鳥獣被害防止対策は

**問** 3月議会の鳥獣被害防止対策の質問で、捕獲個体の埋設処理について、他自治体にみられる焼却施設の検討を要請したが、その後の進展は。

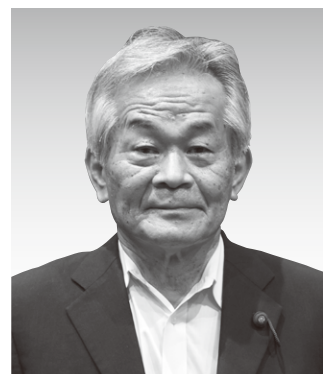
**答** 農林課長

現在、一時冷凍保管し、専門業者への委託処理について協議を進めている。全ての関係者との協議が整った時点で、県に補助要望したい。



# 問 保育施設に係る配置基準等の現状を示せ

答 国の基準を上回っているが、財政的には厳しい



小島 重俊 議員

問

共働き世帯の増加など、保育ニーズは高まっている。募集しても応募がないと言われる保育関係者の処遇改善と人員増は、待ったなしの課題である。

国の配置基準では、保育士一人に対し、乳児3人・1歳児と2歳児6人・3歳児20人・4歳児と5歳児で30人となっている。正規職員の割合を含めた本町での実態を示せ。

答 こども課長

本年6月現在、公立3保育所全てのクラスで国の配置基準を上回る職員を配置している。また、1クラス2名以上の職員配置や月1回の安全委員会開催など、事故防止策を徹底している。

なお、保育士40名のうち、正規職員は23名であり、率は57・5%となっている。これまで、受験資格年齢の引き上げを行うなど、正規職員の確保に努めている。

問

限られた財源の中で、子育て施策を重視してきているが、基準を上回る保育士の配置に対する国の財源保障の内訳は。

答 こども課長

地方交付税の算定根拠に配置保育士数が含まれておらず、国からの財源保障はないと認識している。

この間、国に対する要望を継続してきているが、「異次元の少子化対策」の具体化に向け、適宜適切な対応を行い、本町の子育て支援策を進めた。



▲未来を担う子どもたち

子ども食堂への支援は

問

高松市は、5年前より開設や運営に対する支援を拡充している。町内の実態と支援に対する考え方を示せ。

答 こども課長

現在、2団体が食品等の提供を行っており、事業者や生産者の協力で運営されている。現在、町からの直接的な支援はなく、施設利用料の免除などにとどまっている。まず実態を把握したうえで、国や財団等の補助金を活用するなど、具体的な支援策を検討したい。

職員の働き方改革を

問

昨年度も中途退職者が出ている。窓口業務での体制整備とともに、賃金や職場環境のさらなる改善が必要では。

答 副町長・総務課長

引き続き、処遇改善に努めるとともに、定年延長によるベテラン職員の配置など、組織のスキル底上げを図りたい。







溝渕 裕子 議員

## 問 学校給食に有機農産物を使用する動きは

答 供給面などの課題を踏まえつつ、試験的に一部活用する献立を検討する

**問** 学校給食の食材について、地場産品や有機農産物の使用促進のために「地産地消コーデイナーター派遣事業」に取り組んでどうか。

**答** 教育総務課長

地産地消コーデイナーター派遣事業については、それに代わる取組として農業委員会等との検討を定期的に行っている。有機農産物の使用は、安定供給や品質確保、価格等の課題がある。

今後、試験的に有機農産物を一部活用する献立を栄養教諭とともに検討していく。

有機農業への取組は

**問** 三木町は「ゼロカーボンシティ」宣言を出したが、有機農業は脱炭素社会構築に向けて重要。その足掛かりとして「環境保全型農業直接支払交付金」の取組を積極的に農家へ進めてはどうか。

**答** 農林課長

「環境保全型農業直接支払交付金」は化学合成農薬、化学肥料の5割以上の低減に加え、より環境保全に効果の高い営農活動に取り組む2名以上で構成する農業団体等に対して支援を行うものである。広報や町ホームページに掲載して周知に努める。



▲有機栽培で育てたカボチャ

給食センター化で関係者への説明は

**問** 給食センター化に向けて

保護者や関係者等から説明不足という声が上がっている。丁寧な説明が必要ではないか。

**答** 教育総務課長

地元住民や関係者に対する説明会を実施したほか、町民への周知は、町ホームページや広報に掲載してきた。今後、給食センター完成の折、調理の見学や試食の機会を作り、理解を促進していきたい。

**問** 調理員等への説明はどのように行われているか。慢性的な調理員不足で募集をかけても集まらないと言われるが、待遇等が問題ではないのか。

**答** 教育総務課長

昨年末から全調理員に対し、設備等の意見交換の機会や個別面談を行ってきた。調理業務の対応が決まり次第、速やかに会を実施すると説明している。調理員に特化した待遇見直しは困難だが、他市町の給料水準等を踏まえ、検討していく。



# 委員会レポート

## 学校施設等整備特別委員会

令和5年5月29日

### 給食の調理業務

高松市の2つの給食センターを視察

新しく開設予定の学校給食センターの調理業務を「直営」か、「民間委託」かを検討する上で参考とするために、高松市の2つの学校給食センターの視察を行った。

まず、高松市直営の朝日新町学校給食センターを視察。平成20年に開設し、小学校6校、中学校5校の約6,100食／日を調理。見学スペースから調理場内を見ることがができる。

次に、民間委託の六条町学校給食センターを視察。令和2年開設。高松市初の調理部門の民間委託を行った給食センターである。小学校3校、

中学校2校、幼稚園1園の約4,900食／日を調理。六条町給食センターでは実際の給食を試食後、高松市保健体育課より、次のような説明を受けた。



▲六条町学校給食センターでの試食

民間委託と直営の大きな違いとしては、人事管理業務があるかないか。六条町給食センターの調理委託先は、全国展開している事業者で、研修の機会を設けて技術向上、質の均一化等を図っている。変形労働時間制がとられ、7パ

タインの勤務時間が設定され、比較的若い調理員が集まっている。事業者とは随意契約で5年ごとの更新。

現在は、六条町給食センターの方が一人あたりの年間給食費が2,000円程度安くなっている。食材購入は、これまで同様、学校給食会が一括して行っている。

視察後、本町において委員会を再開した。委員改選後、初の委員会であり、構成委員の変更もあることから、教育総務課より、これまでの給食センター化に至る協議等の経緯説明の後、質疑を行った。

#### 問 溝淵副委員長

本町での調理員の人員不足は、業者に委託すると解消されるとの説明だが、業者と町の募集では何が違うという認識か。

#### 答 教育長

募集方法は、本町では地域に限られるが、民間の場合は

全国規模で募集しており、勤務形態も工夫されている。本町でも働きやすい環境確保が必要である。

#### 問 川波委員

本町の調理員への説明等はどこまで行っているのか。

#### 答 教育総務課担当

設備面等の説明は行っている。今後の調理業務については、一つ一つ決まってくるごとに説明していきたい。

#### 問 福家委員

高松市ではアレルギー対応について、10年ほど前から行っているが、なぜ本町では対応できていないのか。

#### 答 教育総務課担当

現在の給食場では、アレルギー対応調理スペースが確保できず、通常食と混ざるリスク回避が難しい。

# 追跡レポート

## 廃校で 夏イチゴ栽培

旧神山小中学校  
オリジナル品種出荷へ

長年廃校となっていた旧神山小中学校（三木町奥山）を再利用して、夏イチゴの試験栽培が進行中だ。

この事業に取り組んでいるのは、セトラスホールディングス株式会社（本社・高松市磨屋町）で、同社では、「冬イチゴは、全国各地で栽培されているが、夏イチゴの産地は北海道、東北などの寒冷地。需要はあり、付加価値は高い。温暖地でも可能な夏イチゴのオリジナル品種を開発し、三木町を、年中、イチゴが楽しめる町にしたい」と意欲を見せている。

旧神山小中学校は、児童生徒数減で2000年、廃校となった。町では文科省の廃校利用プロジェクトに登録、再活用之道を探っていた。2021年、セトラスホールディングス社の前身、協和化学工業が名乗りを上げ、町が整備工事（総事業費約1,300万円）を行い、同年11月、10年間の貸与契約（年間120万円）を締結、同社のアグリバイオ事業所となった。

旧校舎は、敷地面積約7,500㎡、鉄筋コンクリート3階建ての校舎、体育館、運動場がある。運動場にビニールハウス3棟を設け、研究者5人のプロジェクトチームが、北海道の企業の協力で、冷涼地の夏向けに開発された夏イチゴの栽培を開始。昨年7月、住民を招いて試食会を開いたところ、好評だったという。

現在、約800㎡のハウスに約5,000株を栽培、年間収量は約1・5トン。県内のケーキ屋や和菓子屋などに出荷している。

味は、冬イチゴに負けない「メロン並みの甘さ」となっている。

### 温暖地でも育つ品種を

事業所は高仙山の麓にあり、平地に比べ気温が低い。

狙いは、温暖な地でも栽培できる夏イチゴの開発。3年間の研究成果を踏まえ、来年5月ごろには、オリジナル品種の出荷をスタートとさせる予定だ。

### 農業で地域再生をめざす

同社アグリ・フード事業部の猪熊秀基事業推進課長は、「農業を通じての過疎地活性化が、我々の最終目標。事業所近くでは、稲の栽培も始めている。今後、野菜、果物にも取り組み、狭い農地で農業をやっていくには、どんなビジネスモデルが可能なのかを研究していきたい」と、将来に向けての抱負を語る。



▲旧神山小中学校の運動場に設置されたビニールハウスで行われている夏イチゴの栽培



# 元気なグループ紹介

## 「白山おやじ・おふくろの会」

代表 森田 知成

「子どもたちと一緒に遊ぶ」を目的とし、11年前に発足した当グループも現在は、約50名の会員で活動しています。主な活動内容は、田植え前の水を張った田んぼを会場とした泥リンピック。夏休みを利用して二泊二日での防災キャンプ。白山秋祭りでは、獅子舞、餅つき、盆踊りを担当しています。

今のうちやで」と言われ、うちの子と遊べるのも後10年しか残っていない、今のうちやと思いい、即入会しました。

実際、活動に参加してみると、この会のメンバーはとにかく子どもが大好きで、子どもたちと一緒に楽しいことができないか考え、イベントを計画・実行し、反省点は次回までに改めて、を繰り返して、とてもパワフルでした。

「来年も絶対参加するけんーやつてやー」など全身泥まみれで目を輝かせて言われると、充実感と達成感に満たされ、「来年もやるでー」と即答です。もう止められなくなっています。

最近小学校から田植え、稲刈り等、ウオーキングセンターからは盆踊りの手伝いを依頼され、地域からも認知されたこともあり、活動しやすくなってきました。

子どもの頃、近所の友だちの家の前で「○○ちゃん遊ぼー」とよく叫んでいた。今は、白山小学校の朝礼台の上から全校生徒に「みんな遊ぼー」と叫んでいます。ありがたい!!

子どもと遊べるのは小学生までで、中学生になったらもう一緒に遊んでくれん、寂しいよな!



おやじの背中

### お気軽に議会を

### 傍聴しませんか

本会議の傍聴人の定員は、

30人です。

●お問い合わせは、議会事務局へ

☎087(891)3311

次の定例会は、9月上旬の予定です。

## 編集を

## 終えて

私の家の近くの新川に、欄干に「ほたるはし」と刻まれた橋がかかっている。

子どもたちのころ、川堤には竹藪が茂り、初夏の夜ともなれば、水面にホタルが群舞した。竹笹を手に、声をかけあつて集まり、「ほ、ほ、ほーたる来い……」と歌いながら、ホタル狩りをした思い出がある。

今や、ホタルは消え、誰が名づけたか、「ほたるはし」という名称だけが残っている。

今年、こども家庭庁が発足した。子どもが消え、「異次元の少子化対策」というスローガンだけが残る、未来への懸け橋にはしたくないものだ。

(市原 信夫)

議会だよりは私たちが

編集しています。

|        |       |
|--------|-------|
| 編集委員長  | 市原 信夫 |
| 同 副委員長 | 川波 礼子 |
| 同 委員   | 中川 和樹 |
| 同 委員   | 友保 陽子 |
| 同 委員   | 岡 昌吾  |
| 同 委員   | 福家 昭三 |
| 同 委員   | 溝渕 裕子 |
| 同 委員   | 鎌倉 大祐 |